

第5章 まとめ

第1節 条里型地割について

尾端遺跡周辺域の条里型地割の状況について少し触れる。対象地の北方654mの地点には推定南海道が東西に延びる。また、西方220mには旧山田郡と三木郡の郡界線が南北に延びる。その南海道及び郡界線を基に、北方の南海道周辺は規格的に条里型の地割が配されているが、第104図でもわかるように、尾端遺跡周辺は蓮池の西岸から平田地方向に延びる埋設谷、蓮池より吉田川方向に延びる埋設谷及び本遺跡の立地する南北方向の低丘陵が地形を乱し、現在の地形より条里型の地割を復元するのは困難である。

平成8・9年度の調査段階では、「周辺に残る地割線を延長することにより本遺跡周辺及び対象地内を通る坪界線を復元すれば、南海道より6町目(里界)に当たる東西の坪界線(坪界線A[本報告のSD10・61]、N10°E)及び二条の南北の坪界線(坪界線B・C[本報告のSD58・59])が復元できる」とした。しかし、調査概報でも触れているように、「南北の坪界線のうち、坪界線Cは先に触れた地形の制約によるものと考えられ、南西方向に歪み、1町(109m)四方の方格地割にはなりえていない」。その中より坪界線に合致する遺構、及びそのラインに規制を受けたと考えられる遺構を積極的に抽出すれば、「①地割溝群[本報告のSD10・16～18・21など]、②SD29[本報告のSD58]・30、③SD03[本報告のSD65]等の溝状遺構が挙げられる」としている。第105図1は、本遺跡の遺構確認面のコンターライン図である。本遺跡が、南北に伸びる尾根の西側斜面に位置することから、コンターラインが比較的整然と南北に描かれる。これは、本遺跡で確認された溝状遺構がこのコンターラインと直行する形で設けられていることも、地形的には合理的な設けられ方であったといえる。また、部分的に平坦面を作り出しており、こうした面に掘立柱建物跡が確認され、掘立柱建物跡が必ずしも条里型地割方向に合致しないことにも留意する必要がある。

以上のことから、本遺跡で確認される「建物、溝状遺構の方向」が、一概に条里型地割を意識したものと即断できず、地形的な制約のもとに形作られた可能性もあり、本報告では判断を留保せざるを得ない。

第2節 遺構の変遷

本遺跡で確認された遺構については、第3章第3節で記述した。全体的に遺物量が少なく、時代が特定される遺構は限られている。遺構の重複関係や方向性、包含層との対比にも留意して遺構の変遷について概観する。第105・106・107図は、本遺跡における遺構の変遷図である。

なお、時期区分については本文でもふれたように、三木町小谷窯跡出土須恵器の編年(信里2002)で使用されている飛鳥・平城の編年で補っている。

I 弥生時代終末期～古墳時代前期

この時期に比定できるのはSD36のみである。Ⅲ区で検出されたが、Ⅴ区側に伸びない。Ⅴ区側では削平された可能性が高い。また、この時代の遺構が北側に広がる可能性もある。

II 古代

① 飛鳥Ⅰ(7世紀第1四半期)

この時期の遺構も単発で、SK02のみである。集落遺跡としては成立していない段階と考えられる。

② 様相1 (7世紀第2四半期)

この時期から集落が形成され始める。Ⅱ区で検出されたSB04とⅠ区・Ⅱ区にまたがるSD11がこの時期である。SB01もSB04と同一方向であること、近接することから同一時期の可能性が高いと判断している。集落の中心は北側調査区外に伸びるものと考えられる。

また、SX04はこの時期の遺物が出土しているが、後述するSX05から派生するSD53とつながることから、SX05と同一時期の様相4の時期の可能性もある。

③ 様相2 (7世紀第3四半期)

SD09は、SD10と重なり全体像は明らかではないが、この時期の唯一の遺構である。遺物の出土はないが、SD06はSD09と同一方向にほぼ並行して伸びることから、同一時期と推定している。

また、方向性や前段階のSB01・SB04とSD11のあり方に類似することから、SB02・SB03もこの時期の建物跡と推定できるのではないだろうか。

④ 様相3 (7世紀第4四半期)

この時期にはSB08・SB14・SX01が見られる。SB08と同規模・同方向のSB07もこの時期と考えられる。この時期になって、丘陵の高い地点に集落が広がる傾向が出始めたと考えられる。最上部にあるSB14は調査区内では単独の検出であるが、丘陵の先端部(北側)に同時期の建物跡が広がる可能性が高い。

⑤ 様相4 (8世紀初頭)

SB10・SB11・SD10・SD16・SD17・SD18・SD20・SD21・SD27・SD52・SD53・SD54・SX05がこの時期に比定される遺構である。建物跡がいくつかの平坦面に見られ、出水遺構と考えられるSX05が検出されたことから居住環境の整備が進んだものと考えられる。また、SD10・SD16・SD17・SD18・SD20・SD21など、畝区画と考えられる溝群も検出されており、生産域の一部も整備されたと考えている。SD27やSX05との位置関係を踏まえてSB05・SB06・SX03も同一時期と推定される。また、SB12もSB11と同一方向で近接することから同一時期と思われる。

⑥ 平城Ⅱ (8世紀前半)

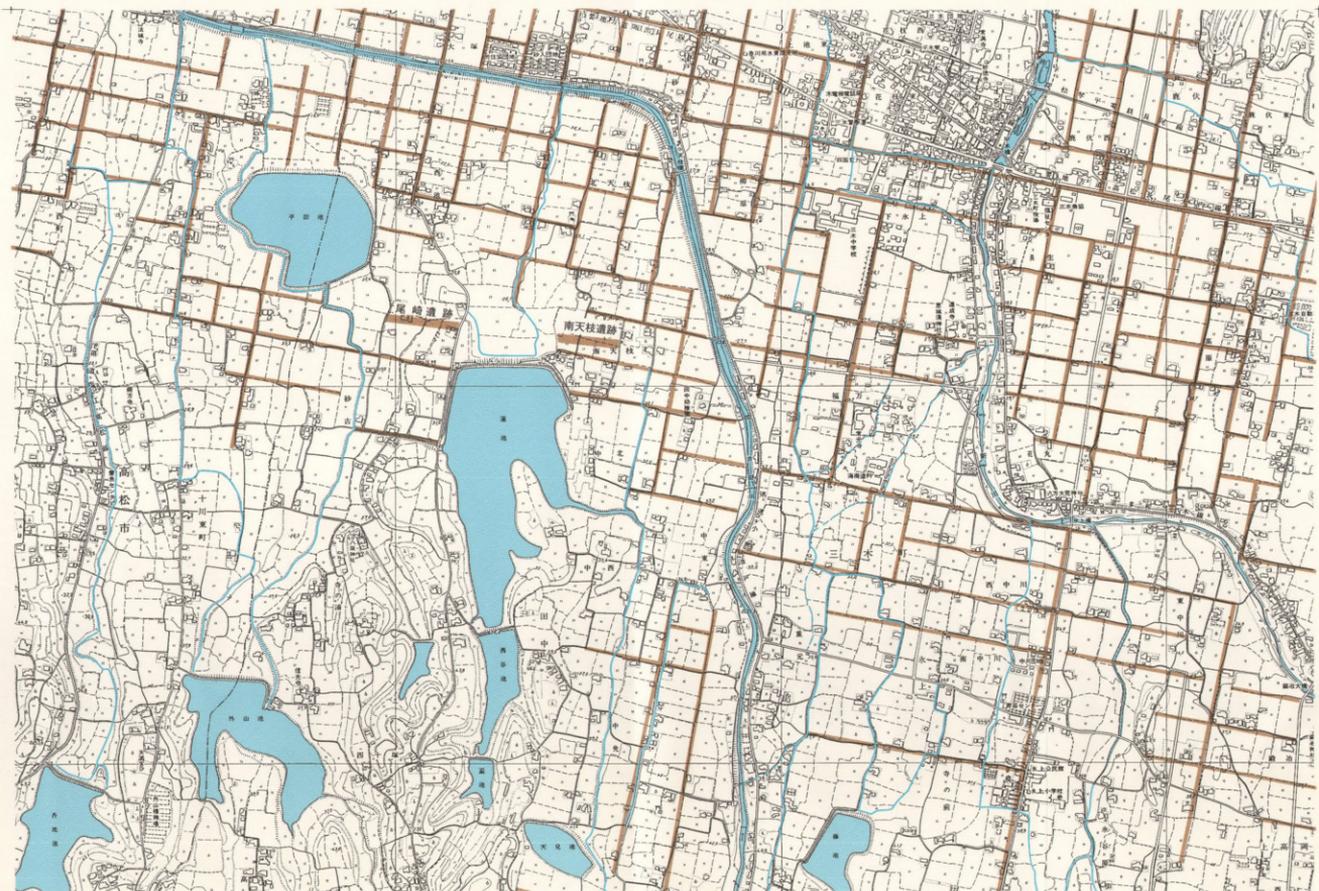
この時期にはSD65のみとなり、他の遺構は検出されていない。集落の廃絶段階と考えている。

Ⅲ 近世

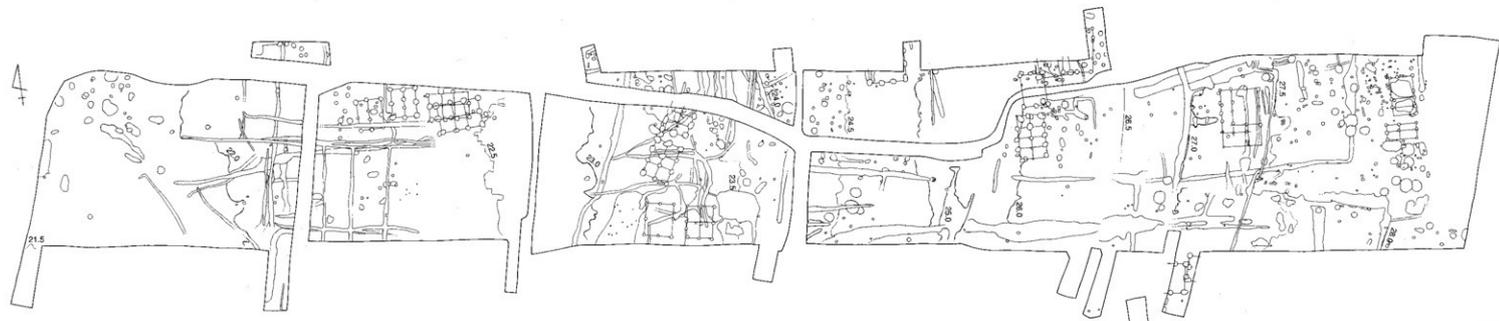
近世になると、SB18・SB19・SD33・SD61・SD79・SD90・SD95・SK11・SK57・SK63・SK79・SK80・SK81・ST01・ST02・ST03・ST04・ST05・SE01・SE02・SX07等の遺構が検出されており、丘陵頂部に集中している。周辺の溝群との関係からSB17もこの時期の所産と考えられる。丘陵頂部には、ほぼ南北に墓が並んでおり、土坑として取り上げたものの中にも墓が含まれている可能性が考えられる。

以上のように、本遺跡は低丘陵上に営まれた7世紀後半～8世紀初頭を中心とする集落跡であるが、丘陵を横断する形での調査であるため、南北への広がり是不明である。集落の構成も、丘陵上に造成されたテラスを中心として形成されているため、建物跡の密集は確認できていない。総柱建物跡が相対に多いことから倉庫群の可能性も残されている。このことは、生活雑器である土器の出土量が少ないことからもうかがえる。今後の周辺調査により、本遺跡の性格がより明確なることを期待したい。

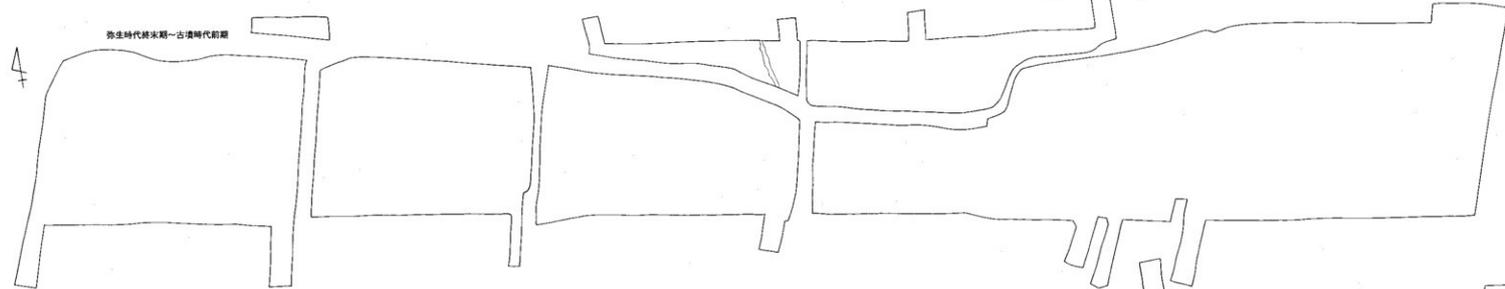
また、近世の墓等については今後の検討を待たねばならないが、墓地の形成とこれに付随する建物の性格を特定させる材料が検出されていない状況であり、可能性の指摘に留めざるを得ない。



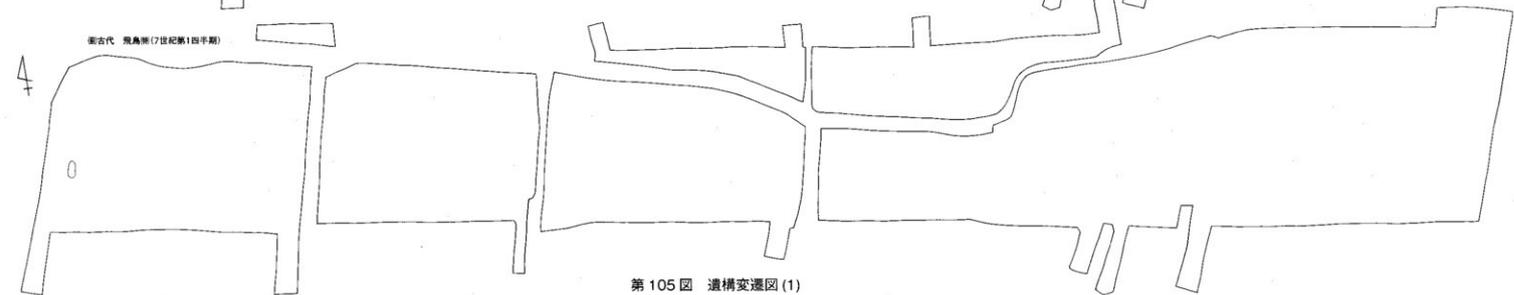
第104図 周辺の条里型地割



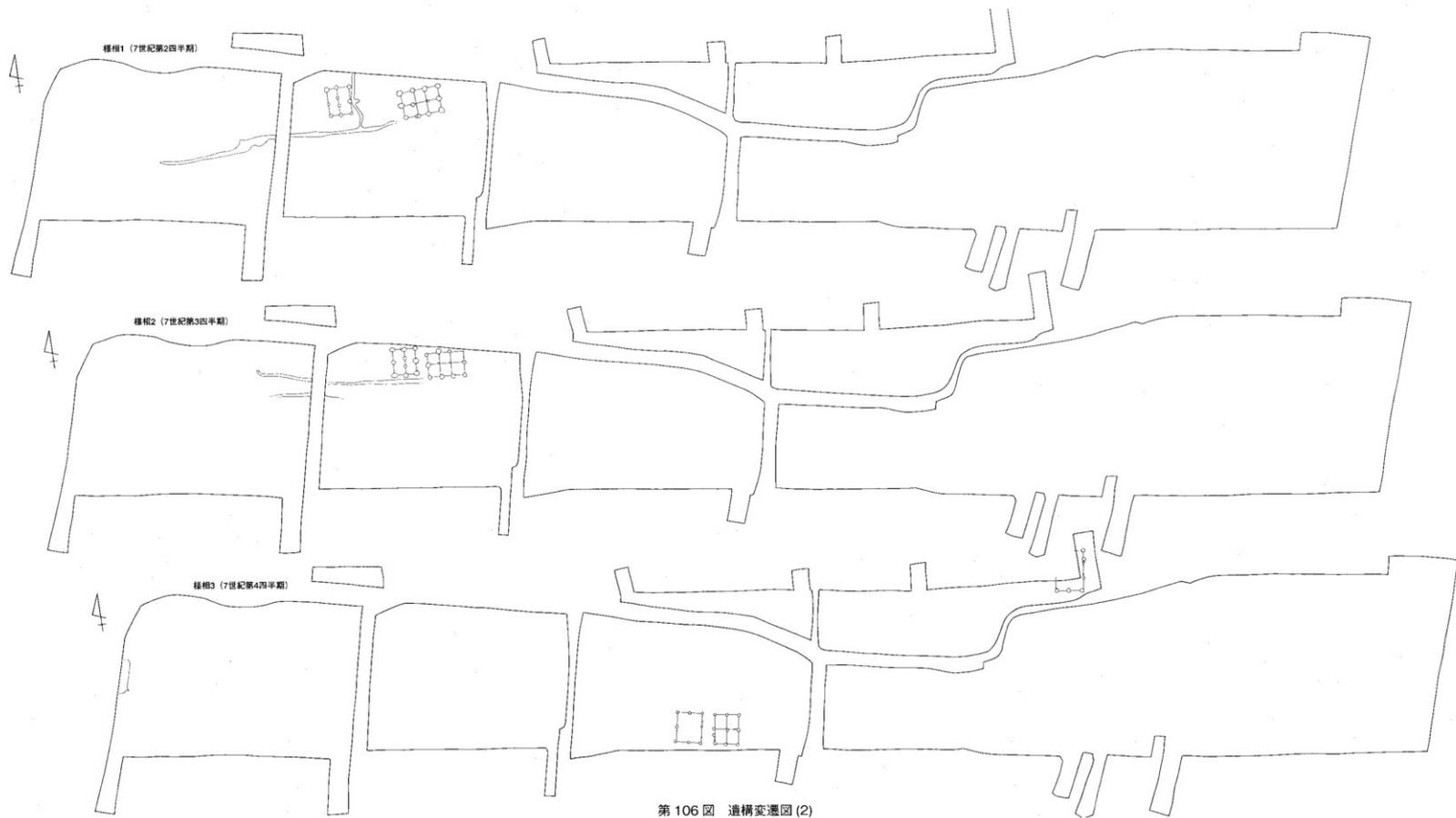
弥生時代終末期—古墳時代前期



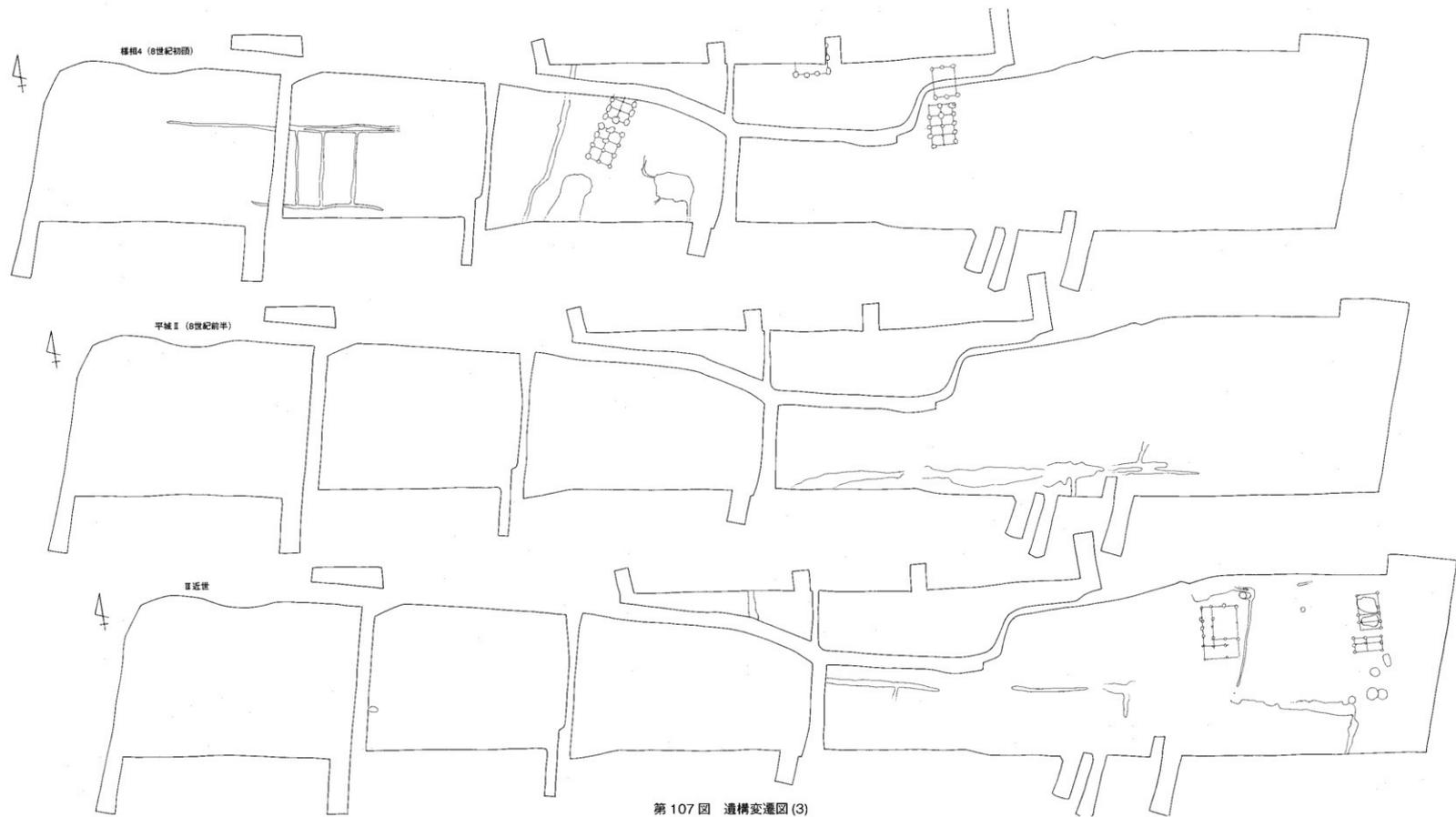
新古代 熊鷹塚(7世紀第1四半期)



第105図 遺構変遷図(1)



第106図 遺構変遷図(2)



第107図 遺構変遷図(3)

第5表 土器観察表

遺物番号	遺構名	種類	器種	口径 (cm)	器高 (cm)	底径(cm) (つまり径)	外面調整	内面調整	残存率	旧遺構名
2)SR03			土製管玉	1.1	2.2					II-d区A-8)SB02(SP57)
3)SR04	須臾器	高外		14.8	3.9		回転ナズ・沈線2条	回転ナズ	4/8	II-d区A-9)ISPO020
14)SR08	須臾器	杯蓋		13.5			回転ナズ・回転ヘラ切り	回転ナズ	2/8	II-c区B-6)SR03SP0014
15)SR10	須臾器	杯蓋					回転ナズ	回転ナズ	小片	II-b区A-4)SP0010
16)SR10	須臾器	杯					回転ナズ	回転ナズ	底径2/8	II-b区A-4)SP0009
17)SP246	須臾器	杯					6.0回転ナズ	回転ナズ	底径1/8	II-b区A-9)SR03SP0023
18)SR14	須臾器	杯					回転ナズ	回転ナズ	口径1/8	II-b区A-4)SR01SP0011
19)SR14	須臾器	杯蓋					回転ナズ	回転ナズ	口径1/8	II-b区A-4)SR01SP0018
21)SR19	土師質土器	短楕		14.6			ナズ・指頭痕	ナズ・板ナズ	1/8	II-d区A-2)ISPO142
22)SP28	須臾器	高杯?		49.1			回転ナズ	回転ナズ	口径1/8	II-d区A-9)ISPO142
23)SP236	須臾器	蓋		13.0			5.6半持ちヘラケズリ	回転ナズ	底径5/8	II-b区A-4)SP0037
24)SP157	須臾器	蓋					4.8回転ナズ	回転ナズ	底径5/8	II-b区A-2)SP0094
25)SP312	土師質土器	有蓋高台鉢		20.7			回転ナズ	刷毛目・輪八平	口径1/8	II-a区A-2)SP0141
27)SD09_10	須臾器	杯身		11.9			回転ナズ	刷毛目・板ナズ	口径1/8	II-d区B-9)ISD005
28)SD09_10	須臾器	杯身		11.0			回転ナズ	回転ナズ	口径1/8	II-d区A-8)ISD004・SD20H2ナズ
29)SD11	須臾器	杯蓋		12.0	4.9		回転ナズ	回転ナズ	口径1/8	II-d区A-8)ISD04・SD20H2ナズ
30)SD11	須臾器	杯蓋		13.8			回転ヘラケズリ・回転ナズ	回転ナズ	口径2/8	II-d区A-8)ISD06
31)SD11	須臾器	有蓋高杯		11.4	6.7			回転ナズ	口径1/8	II-d区A-8)ISD02
32)SD11	須臾器	杯身		9.2			8.5回転ナズ・ヘラケズリ	回転ナズ	口径6/8	II-d区B-9)ISD06No.2
33)SD11	須臾器	杯身		9.7			回転ナズ	回転ナズ	口径1/8	II-d区A-9)ISX02
51)SD22	土師器	蓋		19.8			回転ナズ	刷毛目	口径1/8	II-c区A-6)ISD15
53)SD33	土師陶器	行平盤		15.6					口径1/8	II-c区A-6)ISD05
54)SD33	瀬戸・美濃系陶器	楕圓		4.2					口径2/8	II-c区A-6)ISD05
55)SD33	土師器	土師鉢		6.0					口径1/8	II-c区A-6)ISD05
56)SD36	土師器	小型丸底壺		9.2	2.9		刷毛目	刷毛目	口径1/8	II-c区A-6)ISD02No.2
57)SD36	土師器	小型丸底壺		8.6	8.0		ナズ	ナズ	口径2/8	II-c区A-6)ISD02No.1
59)SD61	陶胎未付	碗					ナズ	ナズ	口径3/8	II-c区B-3)ISD22
60)SD74	中国産白磁	碗					回転ナズ	回転ナズ	口径3/8	II-a区B-3)ISD26
61)SD65	須臾器	碗		26.7			回転ナズ	口縁部破片	口径1/8	II-a区B-4)SD27
62)SD65	須臾器	碗		18.7			回転ナズ	口径2/8	II-a区B-5)SD27	
63)SD65	須臾器	高脚瓶					回転ナズ	口径1/8	II-a区B-5)SD27	
64)SD65	須臾器	蓋					11.5回転ナズ・ヘラ切り	口径1/8	II-a区B-4)SD27	
65)SD65	須臾器	杯					10.8回転ナズ	口径2/8	II-a区B-4)SD27	
66)SD65	須臾器	杯					12.8回転ナズ	口径1/8	II-a区B-5)SD27	
67)SD65	須臾器	杯					9.2回転ナズ	口径1/8	II-a区B-5)SD27	
68)SD65	須臾器	杯					8.7回転ナズ	口径2/8	II-a区B-5)SD27	
69)SD65	須臾器	杯					11.0回転ナズ	口径1/8	II-a区B-3)SD27	
70)SD65	須臾器	蓋					11.6回転ナズ	口径2/8	II-a区B-3)SD27	
71)SD79	埴輪陶器	三ツユア壺(身)		4.4	3.7		3.3ナズ・蓋輪	ナズ・蓋輪	口径1/8	II-a区B-2)ISD03
71)SD79	埴輪陶器	三ツユア壺(蓋)		3.6	0.9		ナズ	ナズ	口径1/8	II-a区B-2)ISD03

遺物番号	遺構名	種類	器種	口径 (cm)	器高 (cm)	底径(cm) (含まれ)	外面調整	内面調整	残存率	旧遺構名
72SD79	須置器	杯				8.8	回転ナデ・へう切り	回転ナデ	1/8	II-e区B-2)SD03
73SD90	瓦質土器	鉢				27.7	摩擦・刷毛目	摩擦	底径1/8	II-e区A-2)SD12
74SD92	瓦器	鉢				4.1	ナデ・横ナデ	摩擦	3/8	II-e区A-2)SD02
75SD95	肥前系磁器	罐反碗				4.0			底径4/8	II-e区B-2)SD03
76SD95	瀬戸・美濃系陶器	広皿碗				5.0			底径8/8	II-e区B-2)SD13A群
77SD95	肥前系磁器	広皿碗				10.2			口径2/8	II-e区B-2)SD13
78SD95	瓦質土器	鉢				3.0			口径1/8	II-e区B-2)SD13
79SD95	瓦質土器	鉢				14.5	14.8 波状文・刷毛目	回転ナデ	2/8	II-e区B-2)SD13
80SD95	瓦質土器	羽釜				24.8	ナデ・指頭儀	ナデ・刷毛目・摩擦	7/8	II-e区B-2)SD13B群
81SD95	瓦質土器	羽釜				20.0	ナデ	板ナデ	1/8	II-e区B-2)SD13
82SD95	瓦質土器	羽釜				29.6	回転ナデ・刷毛目	回転ナデ	1/8	II-e区B-2)SD13A群
83SD95	土師質土器	火清き器				36.0	回転ナデ・刷毛目	回転ナデ	1/8	II-e区B-2)SD03
84SD1	土師質土器	深鉢				26.0	横ナデ・ナデ・板ナデ	横ナデ・へう状工具儀・指頭儀後板ナデ	底径6/8	II-e区A-2)SX01
85SD2	土師質土器	深鉢				32.5	横ナデ・ナデ・板ナデ	横ナデ	6/8	II-e区A-2)SX02
86SD3	肥前系磁器	罐反碗				10.0	回転ナデ	回転ナデ	口径1/8	II-e区A-1)SX03
87SD3	肥前系磁器	罐反碗				10.0	回転ナデ	回転ナデ	口径1/8	II-e区A-1)SX03
89SK02	須置器	鉢蓋				13.8	回転ナデ	回転ナデ	口径2/8	II-e区B-10)SK04群はずし
90SK11	須置器	鉢蓋				8.8	回転ナデ	回転ナデ	口径2/8	II-d区B-9)SK11
91SK57	肥前系陶器(灰付)	鉢				9.0	回転ナデ	回転ナデ	口径2/8	II-e区A-2)SK23
92SK57	肥前系陶器(灰付)	鉢				10.3	4.0 回転ナデ	回転ナデ	口径2/8	II-e区A-2)SK23
93SK57	肥前系陶器	皿				12.0	3.9 回転ナデ	回転ナデ	口径2/8	II-e区A-2)SK23
94SK57	肥前系陶器	皿				21.2	7.0	回転ナデ	口径2/8	II-e区A-2)SK23
95SK57	土師質土器	羽釜				38.4	ナデ・指頭儀	刷毛目	口径2/8	II-e区A-2)SK23
96SK57	瓦質土器	焙壺				40.4	横ナデ・指頭儀後板ナデ・刷毛目	横ナデ・刷毛目後ナデ	口径7/8	II-d区A-2)SK23
97SK57	瓦質土器	焙壺				7.2	回転ナデ	回転ナデ	口径5/8	II-e区B-2)SK26
98SK63	新習儀粘麗器	鉢				10.8	回転ナデ	回転ナデ	口径1/8	II-e区B-2)SK26
99SK63	瀬戸・美濃系陶器	広皿碗				8.0	回転ナデ	回転ナデ	口径1/8	II-e区B-2)SK26
100SK63	肥前系陶器	焙壺				44.2	回転ナデ	回転ナデ	口径2/8	II-e区B-2)SK26
101SK63	瓦質土器	焙壺				7.2	回転ナデ	回転ナデ	口径2/8	II-e区B-2)SK05
102SK79	肥前系磁器	小鉢				9.0	回転ナデ	回転ナデ	口径2/8	II-e区A-2)SK05
103SK79	瀬戸・美濃系陶器	火入丸・香炉				19.0	指頭儀後ナデ	板ナデ	口径2/8	II-e区B-2)SK22
104SK79	瓦質土器	羽釜				10.5	3.9 回転ナデ	回転ナデ	口径1/8	II-e区A-2)SK02
106SK80	肥前系磁器	罐反碗				10.7	回転ナデ	回転ナデ	口径7/8	II-e区A-2)SK02
107SE01	肥前系陶器	刷毛目鉢				9.9	回転ナデ	回転ナデ	口径1/8	II-e区A-2)SK02
108SE01	肥前系陶器	皿				9.4	3.0	回転ナデ	口径1/8	II-e区A-2)SK01
109SE01	施釉陶器	土師蓋				38.4	回転ナデ	回転ナデ・スリ目	底径5/8	II-c区A-2)SK01
110SE01	瀬戸・明石系	深鉢				9.7		摩擦	口径1/8	II-c区A-2)SK01
111SE02	瀬戸・美濃系陶器	罐反碗				13.8	9.0 摩擦	回転ナデ	口径5/8	II-c区A-2)SK01
112SX01	須置器	鉢				11.8	8.0 回転ナデ	回転ナデ	口径4/8	II-c区A-2)SK01
113SX01	須置器	鉢				4.1	10.0 回転ナデ・回転へう切り後回転ナデ	回転ナデ	口径4/8	II-c区A-2)SK01
114SX01	須置器	鉢				11.8	11.8 回転ナデ・へう切り	回転ナデ	口径4/8	II-c区A-2)SK01
115SX01	須置器	鉢						回転ナデ		

遺物番号	遺構名	種類	口径 (cm)	高さ (cm)	底径(cm) (つまみ径)	外面調整	内面調整	残存率	旧遺構名
116 SX01	須置器	短原杵	10.2		回転ナギ	回転ナギ	4/8	II-c区A-7H SX01	
117 SX01	須置器	短原杵	11.7		回転ナギ	回転ナギ	口径1/8	II-c区A-7H SX01	
118 SX01	須置器	長原杵	11.0		回転ナギ・沈埋2条	回転ナギ	1/8	II-c区A-7H SX01	
119 SX01	須置器	平肌			回転ナギ	回転ナギ	沈埋保3/8	II-c区A-7H SX01	
120 SX01	須置器?	杵蓋?			回転ナギ (1.0)	回転ナギ	2/8	II-c区A-7H SX01	
121 SX03	須置器	高杯			回転ナギ・沈埋1条	ナギ	7/8	II-c区A-6H SX03	
122 SX04	須置器	高杯			回転ナギ	回転ナギ	沈埋2/8	II-c区B-6H SX05	
124 SX05	須置器	高杯	12.8	3.9	9.0 回転ナギ・ヘラ切り・ヘラ記号	回転ナギ	5/8	II-c区B-6H SX05	
125 SX05	須置器	杯	14.4		回転ナギ	回転ナギ	口径2/8	II-c区B-6H SX02	
126 SX05	土師器	杯	11.0	2.5	8.0	回転ナギ	1/8	II-c区B-6H SX02	
127 SX05	土師器	杯	15.2			回転ナギ	1/8	II-c区B-6H SX02	
128 SX05	須置器	杯	12.8		回転ナギ	回転ナギ	1/8	II-c区B-6H SX02	
129 SX05	須置器	杯	18.0		回転ナギ	回転ナギ	口径1/8	II-c区B-6H SX02	
130 SX05	須置器	杯	13.8	4.0	9.2 回転ナギ・ヘラ切り	回転ナギ・ヘラ切り	2/8	II-c区B-6H SX02	
131 SX05	須置器	壺			9.0 回転ナギ	回転ナギ	2/8	II-c区B-6H SX02	
135 SX07	京・作並土器類	壺			6.3 摩滅・ナギ・鬚毛目・ヘラミガキ	摩滅・ナギ・指頭風	頸部～体部3/8	II-a区A-3-1 SX06	
136 包含層	炊土土器	壺	11.6	19.5		摩滅・ナギ・指頭風	7/8	II-d区A-7H 包含層(黒色粘土層の上位)	
137 包含層	須置器	杯身	10.2		回転ナギ	回転ナギ	口径1/8	II-d区A-10H 包含層(黒色粘土層の上位)	
138 包含層	須置器	杯			10.8 回転ナギ	回転ナギ・回転ヘラ切り	底径2/8	II-d区A-9H 包含層 II 26層	
139 包含層	須置器	杯			10.2 回転ナギ	回転ナギ	1/8	II-d区A-B-10H 包含層 II 26層	
140 包含層	須置器	杯			10.5 回転ナギ	回転ナギ・回転ヘラ切り	底径2/8	II-d区A-B-10H 包含層 II 26層	
141 包含層	須置器	杯・盤			13.4 ナギ	ナギ・ヘラ切り	底径5/8	II-d区A-9H 包含層	
142 包含層	須置器	皿	17.8	2.4	13.8 回転ナギ・火事・回転ヘラ切り	回転ナギ	口径1/8	II-d区B-9H 包含層	
143 包含層	須置器	鉢			8.2 回転ナギ・ナギ	回転ナギ	2/8	II-d区A-10H 包含層(黒色粘土層の上位)	
144 包含層	須置器	碗	9.0	5.1	回転ナギ・回転ヘラズリ	回転ナギ	3/8	II-d区B-10H 包含層 II 27層	
145 包含層	須置器	杯	14.8	4.3	10.5 回転ナギ	回転ナギ	小破片	II-c区A-6H 包含層(下がり) II 33層 II 33	
146 包含層	須置器	壺			ナギ・波状文5条1單位・削り出し突	回転ナギ	口径3/8	II-c区B-6H 包含層 II 33層 II 33層	
147 包含層	須置器	長原杵			10.0 回転ナギ	回転ナギ・回転ヘラ切り	口径3/8	II-c区B-6H 包含層 II 33層 II 33層	
148 包含層	須置器	壺	35.4		回転ナギ・磨刻刺突文・波状文	回転ナギ	口径部破片	II-c区B-6H 包含層 II 33層 II 33層(壺)	
149 包含層	須置器	須置器	13.2	3.3	1.8 回転ナギ	回転ナギ	4/8	II-c区B-6H 包含層(埋道直上(下り)1層)	
150 包含層	須置器	鉢			8.4 回転ナギ	回転ナギ	底径2/8	II-c区B-6H 中央部1層(名)	
151 包含層	須置器	鉢			11.0 回転ナギ	回転ナギ	口径2/8	II-c区B-6H 包含層 II 33層	
152 包含層	須置器	鉢			波状文・回転ナギ	回転ナギ	小破片	II-c区B-6H 包含層 II 33層	
153 包含層	須置器	鉢	14.2	4.0	9.3 回転ナギ	回転ナギ	1/8	II-c区A-7H 包含層	
154 包含層	須置器	鉢	8.8	5.5	5.6 回転ナギ	回転ナギ	4/8	II-c区A-7H 包含層 II 3層 II 6層	
155 包含層	土師器	有蓋高杯蓋	21.6		摩滅	摩滅	1/8	II-c区A-7H 包含層 II 3層 II 6層	
156 包含層	須置器	須置器			(3.2) 回転ナギ	回転ナギ	6/8	II-c区A-7H 包含層 II 3層 II 6層	
157 包含層	須置器	須置器	12.9	3.7	9.0 回転ナギ	回転ナギ	2/8	II-c区A-6H 包含層 II 3層	
158 包含層	須置器	壺			波状文	回転ナギ	破片	II-c区A-6H 包含層 II 3層	
159 包含層	須置器	土管	8.0		ナギ・後脚鬚目	摩滅	口径破片	II-c区A-7H 包含層	

遺物番号	遺構名	種類	口径 (cm)	高さ (cm)	底径(cm) (つまみ径)	外面調整	内面調整	残存率	旧遺構名
160	包含層	種別口				磨減	磨減	破片	II-c区A-70位包含層
161	包含層	杯	14.0	1.9	3.0	回転ナデ・ヘラ切り	回転ナデ	1/8	II-c区A-70位包含層
162	包含層	杯			11.6	回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ	2/8	II-c区B-60位進入路部分重層(II)による包含層
163	包含層	杯蓋	14.6			回転ナデ・ヘラ切り	回転ナデ	1/8	磨削
164	包含層	高杯			9.4	回転ナデ	回転ナデ		II-c区A-60位北側溝
165	包含層	陶器				回転ナデ	回転ナデ	破片	II-c区A-70位北側溝

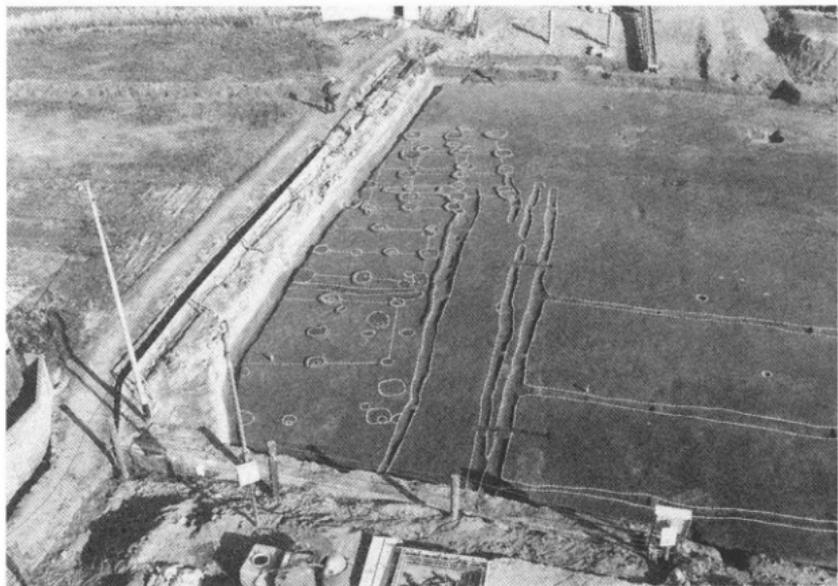
第6表 石器観察表

遺物番号	遺構名	器種	現存数	最大幅	最大厚	材質	旧遺構名
52	SD27	棒形石器	41	2.9	0.8	竹劫小	II-c区B-70位SD10
58	SD43	石鏃	22	1.6	0.3	竹劫小	II-c区B-60位SD13
88	ST05	磨製石斧?	64	3.8	2.1	結晶片岩	II-a区B-21位SK16
105	SK79	不明石製品	14.8	12.0	5.7		II-a区B-21位SK05
166	包含層	石鏃	2.5	2.4	0.5	竹劫小	II-d区B-90位血(直)上
167	包含層	石鏃	2.3	1.8	0.5	竹劫小	II-c区B-60位包含層
168	包含層	石鏃	1.9	1.3	0.2	竹劫小	II-b区A-50位北側溝(切羽)
169	包含層	有言尖頭鏃、石鏃	5.1	2.2	0.6	竹劫小	II-d区B-100位包含層II(26)層
170	包含層	石鏃	3.4	2.1	0.7	竹劫小	II-c区中央部分包含層II(13)層
171	包含層	石鏃	5.9	5.5	1.2	竹劫小	II-d区B-100位包含層II(26)層
172	包含層	二次調整のある剥片、スクレイパー	8.2	5.5	1.1	竹劫小	II-c区A-60位包含層II(26)層
173	包含層	二次調整のある剥片	3.7	4.9	1.4	竹劫小	II-c区B-60位包含層II(17)層

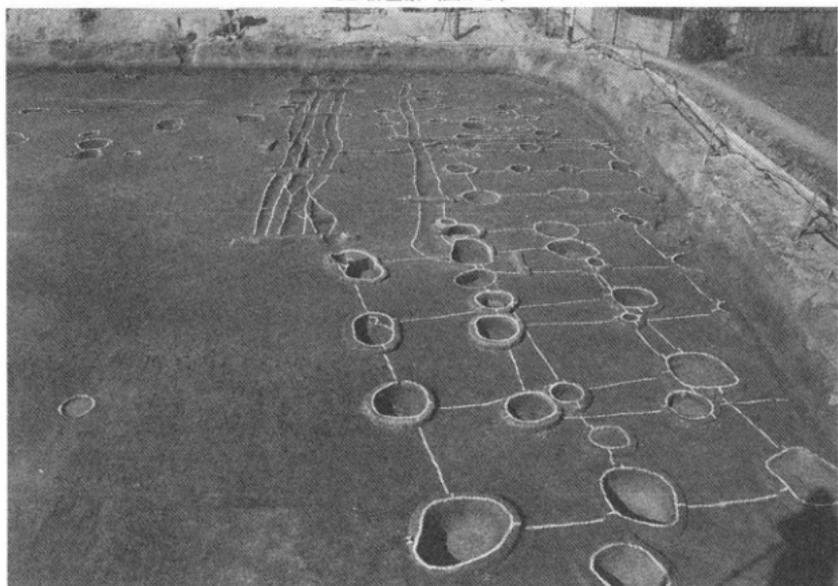
第7表 木製品観察表

遺物番号	遺構名	器種	現存長	最大幅	最大厚	未取り	旧遺構名
1/SB02	柱材	柱材	42.5	9.0	6.0	芯持木材	II-d区SB03SP54
4/SB04	蓋串	蓋串	9.4	2.7	0.8	芯持木材	II-d区A-8/SB01SP24
5/SB04	蓋串	蓋串	20.9	3.7	0.4		II-d区A-8/SB01SP24
6/SB04	柱材	柱材	46.2	11.5	10.0		II-d区A-8/SB01SP28
7/SB04	柱材	柱材	24.4	11.6	11.2	柱目	II-d区A-8/SB01SP26
8/SB05	柱材	柱材	26.6	8.4	4.6	芯持木材	II-c区A-6/SB01SP50
9/SB06	柱材	柱材	66.8	14.7	11.3	芯持木材	II-c区A-7/SB02SP07
10/SB06	柱材	柱材	66.2	13.3	11.4	柱目	II-c区B-7/SB02SP08
11/SB06	柱材	柱材	66.7	14.3	11.2	柱目	II-c区B-7/SB02SP09
12/SB06	柱材	柱材	50.8	12.7	13.1	柱目	II-c区A-6/SB02SP51
13/SB06	柱材	柱材	38.3	15.0	11.0	柱目	II-c区A-6/SB02SP55
34/SD11	木桶	木桶	149.3	18.9	6.5	芯持木材	II-d区A-9/SX02No.14
35/SD11	木桶	木桶	140.8	14.7	6.7	柱目	II-d区A-9/SX02No.15
36/SD11	不明	不明	48.4	5.0	2.5	柱目	II-d区A-9/SX02No.13
37/SD11	不明	不明	16.0	4.3	2.5	柱目	II-d区A-9/SX02No.11
38/SD11	板材	板材	31.6	6.7	4.0	柱目	II-d区A-9/SX02No.6
39/SD11	板材	板材	45.2	10.0	3.0	柱目	II-d区A-10/SX02No.9
40/SD11	板材片	板材片	44.0	5.8	3.6	芯持木材	II-d区A-9/SX02No.7
41/SD11	板材片	板材片	14.6	9.1	5.1	柱目	II-d区A-9/SX02No.11
42/SD11	板材片	板材片	22.1	9.8	2.5	柱目	II-d区A-10/SX02No.8
43/SD11	角材	角材	34.9	3.0	2.6	柱目	II-d区A-9/SX02No.12
44/SD11	板材	板材	38.2	4.6	2.9	柱目	II-d区SX02
45/SD11	板材	板材	40.2	9.3	4.3		II-d区A-9/SX02No.4
46/SD11	板材	板材	44.8	7.6	5.0	柱目	II-d区A-9/SX02No.1
47/SD11	坑	坑	19.8	4.6	4.3	柱目	II-d区B-10/SX02No.18
48/SD11	板材片	板材片	17.4	3.0	1.4	柱目	II-d区A-9/SX02No.12
49/SD11	板材片	板材片	13.6	2.8	1.7	柱目	II-d区A-10/SX02No.5
50/SD11	蓋串	蓋串	15.5	2.9	0.4	芯持木材	II-a区B-2/dSD13A群
132/SX05	蓋串	蓋串	12.7	1.6	0.4	芯持木材	II-c区B-6/SX02
133/SX05	不明木製品	不明木製品	23.8	3.4	1.4	芯持木材	II-c区B-6/SX02
134/SX05	蓋串?	蓋串?	23.9	1.4	0.4	柱目	II-c区B-6/SX02

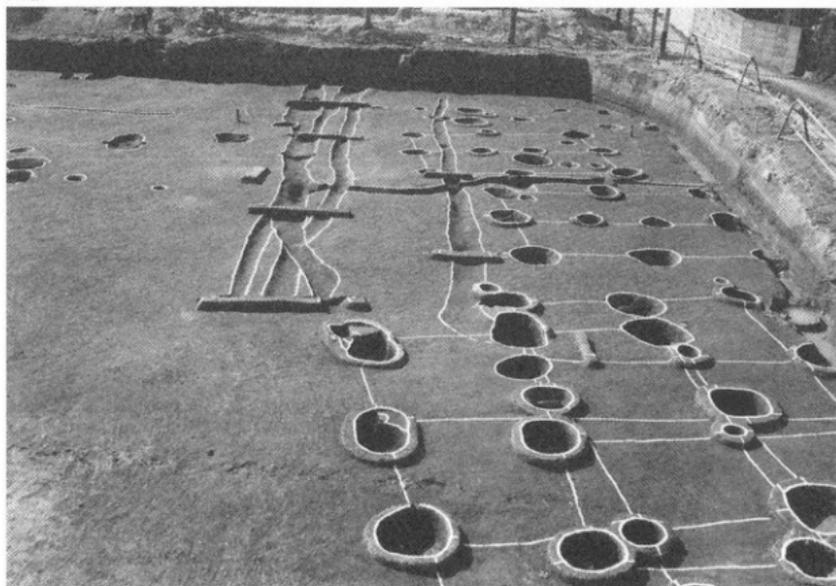
圖 版



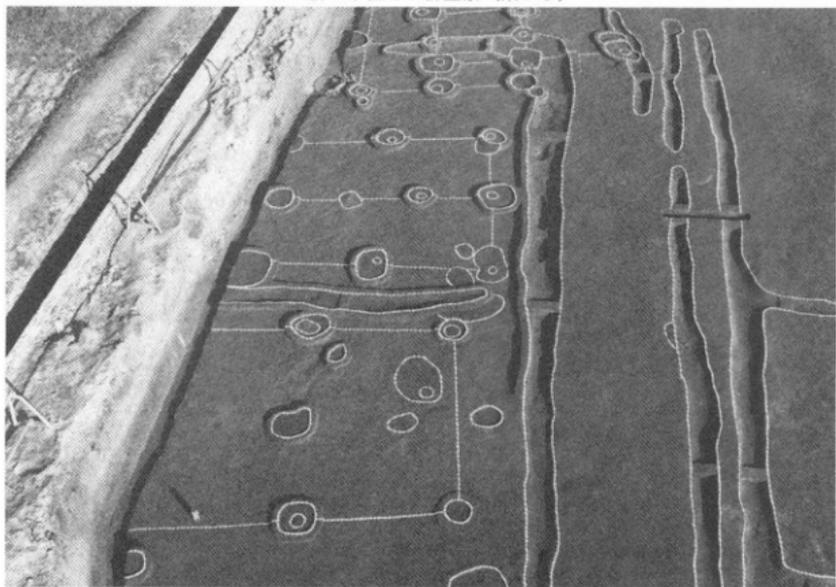
SB 群全景 (西から)



SB 群全景 (東から)



SB 群・下位 SD 群全景 (東から)



SB01・02 全景 (西から)



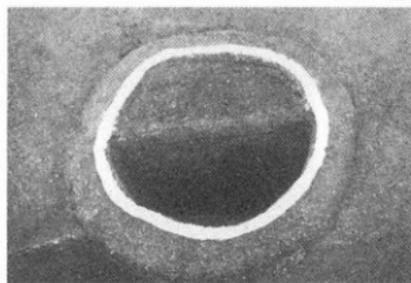
SB01・02 全景 (南から)



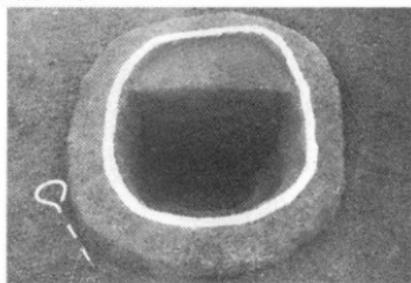
SB01・02 全景 (南から)



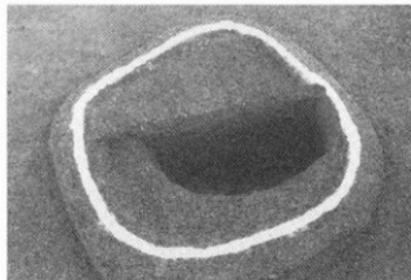
SB01 全景 (南から)



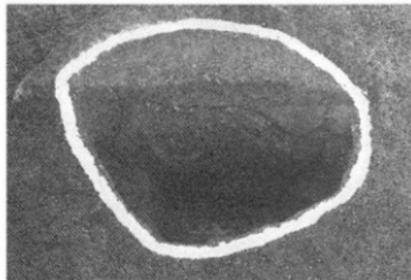
SB01 (Pit06) 土層断面 (東から)



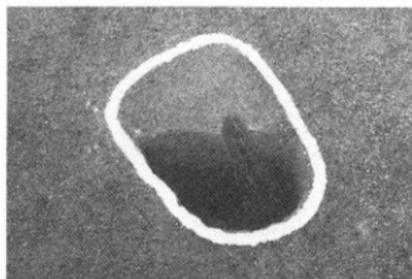
SB02 (Pit02) 土層断面 (西から)



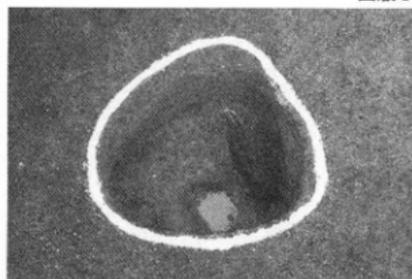
SB02 (Pit04) 土層断面 (南から)



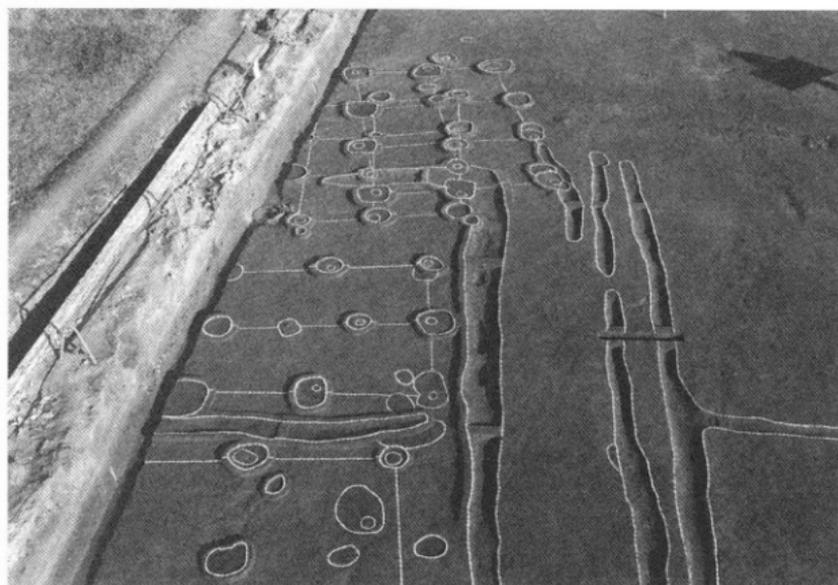
SB02 (Pit06) 土層断面 (東から)



SB02 (Pit09) 土層断面 (東から)



SB02 (Pit09) 遺物出土状態 (東から)



SB02・03・04 全景 (西から)



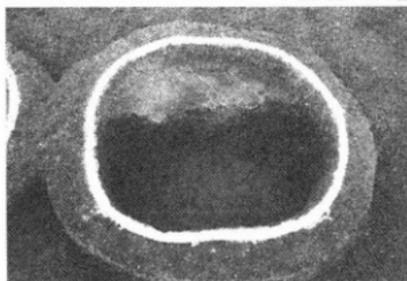
SB02・03・04 全景 (南から)



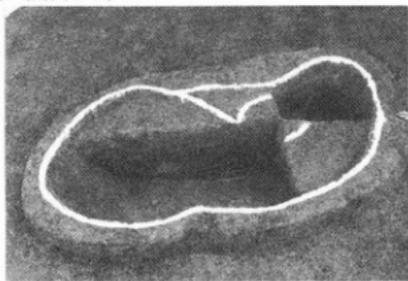
SB03・04 全景 (南から)



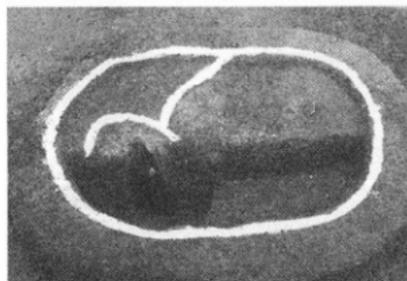
SB03・04 全景 (南西から)



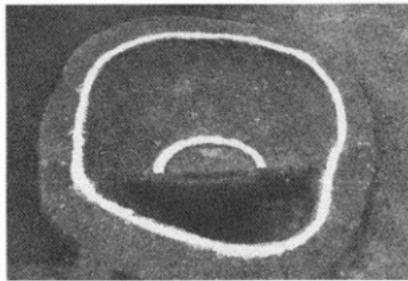
SB03 (Pit05) 土層断面 (南から)



SB04 (Pit66・Pit03) 土層断面 (北から)



SB04 (Pit462・Pit04) 土層断面 (北から)



SB04 (Pit07) 土層断面 (北から)